

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 良質な農林産物の生産・普及の促進
-----	--------------------

施策主管課	農業振興課	総合計画記載頁	120ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	19 農林業の付加価値を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	農林業を支える多様な担い手が育ち、生産力や産地力の向上、良好な農村環境の形成など、総合的に農林業の付加価値が高まっています。
------	----------------------------------	----------------	-----------------	---------------------	--

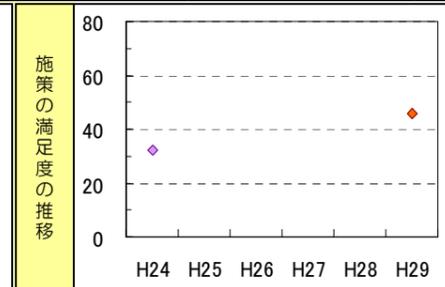
2 施策の取組状況

施策目標	安全・安心で、市場価値の高い良質な農林産物が生産・普及され、地域でも多くの地場農林産物が消費されています。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24 (H23.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	うつのみや地産地消推進店数(店)	単年度目標値	90	100	105	110	115			120	A	エコファーマーの認定数(人)	中核市平均	308.2					
	現状値	77店	実績値	84					実績値	666										
	目標値(H29)	120店	単年度の達成度	93.3%					中核市での本市の順位	5位/41市中										
① 施策指標			単年度目標値								中核市平均									
		現状値	実績値								実績値									
		目標値(H29)	単年度の達成度								中核市での本市の順位									
① 施策指標			単年度目標値							③ 市民意識調査結果	施策の満足度(%)		調査結果	39.3%						-
		現状値	実績値								目標値(H29)	50.0%	前年度からの増減							
		目標値(H29)	単年度の達成度																	

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方

施策指標	A:達成度90%以上 B:達成度70%~90%未満 C:達成度70%未満
中核市等との水準比較(中核市での本市の順位)	A:上位1/3(1~14位) B:中位(15~28位) C:下位1/3(29位以下)
市民意識調査結果(満足度)	A:前年度より向上(2%超) B:前年度同水準(±2%以内) C:前年度より低下(-2%未満)

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度に策定した「地産地消推進計画」に基づき、地産地消の普及啓発や地場農産物の消費拡大に組織的に取り組んだことにより、地産地消推進店が着実に増える(達成度93%)など成果をあげている。ただ、推進店のうち、飲食店の数が増加しているものの、農産物直売所の割合が低いことから、今後は農産物直売所への支援が必要となっている。</li> <li>環境負荷が少ない環境にやさしい農業への関心が高まる中、環境保全型農業に繋がる施設や設備の導入を支援してきたことにより、エコファーマーの認定数が中核市で5位となるなど成果を上げている。より魅力的な支援策を用意し、環境保全型農業に取り組む農業者を育成し、エコファーマーの確保に取り組む。</li> </ul>	市民満足度		進捗の状況	順調
------	--	-------	--	-------	----

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	水田農業構造改革事業交付金		・高品質な米・麦・大豆の生産振興	宇都宮市内の農業者	事業に取組む農家へ助成金を交付	H16	国の「経営所得安定対策」を普及啓発し、さらに市及び宇都宮農業協同組合の費用負担による独自事業を講じることで、引き続き「農業の持続性の向上」や「食糧自給力の向上」を図るため、事業を継続していく。
2	米粉利用促進事業		・高品質な米・麦・大豆の生産振興	市民等	「米の製粉機」の管理運営及び米粉の普及啓発	H21	事業開始から4年が経過し、当初の目的は達成したと思われることとあわせ平成26年度に「米の製粉機」のリース契約期間が終了となることから、廃止を含めて事業内容の見直しを行う。
3	イノシシ防護柵導入事業補助金		・園芸畜産物の生産振興	農業生産者	・イノシシやハクビシン等の農地への侵入防止のための防護対策の支援	H20	イノシシやハクビシンによる農作物の被害が拡大傾向にあり、被害防止に対する農家のニーズは高いため、事業を継続する。
4	園芸作物病害虫予防対策事業		・園芸畜産物の生産振興	農業生産者	・炭疽病発生防止のため灌水チューブ導入費用の一部を補助	H20	病害虫予防対策は、適切な発生抑制や未然防止対策を産地全体で取り組み、病害虫の蔓延防止を図る必要があることから、引き続き、トマト、イチゴ等の主要品目を中心とした新たな病害虫対策の検討していく。
5	園芸作物生産施設等整備事業		・園芸畜産物の生産振興	農業生産者、宇都宮農業協同組合、農業生産法人、農事組合法人、その他園芸作物の生産団体	・パイプハウスをはじめ、園芸作物の品質や生産力、集出荷の効率化を図るための施設・機械等の導入に対し、費用の一部を補助するもの	H15	要望調査等により生産者のニーズを把握し、効率化や省力化につながる施設・設備の導入に対し引き続き支援を続けていくとともに、今後は自然エネルギー・再生可能エネルギー等を活用した新技術の導入に対する支援も検討していく。
6	家畜伝染病予防対策事業補助金		・園芸畜産物の生産振興	宇都宮市家畜防疫団体連絡協議会、宇都宮市酪農組合	・各種家畜伝染病予防接種の支援 ・脱臭剤等購入農家の支援	S47	家畜伝染病が広域にまん延することを防ぐことは重要であることから、県やJA等の関係機関と連携した防疫活動を継続する。
7	農業技術高度化事業	○	・新たな生産技術の導入促進	農業生産者、高度な製作・加工技術を有する企業・大学・研究機関	・農業技術高度化研究会の運営	H23	研究会において活発な議論を行うため、多くの企業や研究機関、生産者等が参加できる体制を整え、農業技術の高度化に向けた研究が効果的に進むよう、支援のあり方を検討する。
8	優良繁殖雌牛導入事業費補助金		・新たな生産技術の導入促進	宇都宮農業協同組合和牛改良専門部会	・優良繁殖雌牛導入の支援	H16	優良な和牛肥育素牛の生産体制を確立し、畜産農業の経営安定を図るため、引き続き、優良な血統の雌牛導入の支援を行う。
9	宇都宮牛復興プロジェクト		・新たな生産技術の導入促進	宇都宮農業協同組合宇都宮牛肥育部会	・科学的飼養管理技術の支援 ・優良肥育素牛導入の支援	H20	宇都宮牛の出現率を更に向上市させるため、科学的飼養管理技術に支援するとともに、宇都宮牛の更なる知名度向上とブランド力向上を図る新たな取組を検討していく。
10	宇都宮「食の街道」づくり推進事業補助金		・農商工連携による6次産業化の促進	宇都宮食の街道推進協議会	・知名度向上のためのPR活動	H21	地産地消と都市ブランドの向上を図るため、観光や歴史・文化など様々な地域資源を組み合わせ「食の街道」を活用した農商工連携の推進を図り、観光事業ほか関連事業と連携したPR活動を実施していく。
11	うつのみやアグリネットワーク推進事業補助金		・農商工連携による6次産業化の促進	うつのみやアグリネットワーク	・農業と他産業の連携を促し、宇都宮の農産資源を活用した新商品やサービスの創出を促進	H19	ネットワーク活動の活発化及びプロジェクト創出機能の充実・強化を図るため、交流会や研究会の開催により、会員間の連携促進、新規会員の確保に努めるとともに、商工会議所や農協などの関係機関との連携を強化する。
12	農産物ブランド推進事業補助金	○	・マーケティング力の向上	うつのみや農産物ブランド推進協議会	・知名度向上と販路拡大のためのPR事業	H11	ブランド農産物の知名度向上を図るため、市内及び首都圏におけるPR活動を継続していくとともに、消費者向けには食と観光を組み合わせ農産物体験や地産地消推進店を活用した販売促進キャンペーンのほか、首都圏のアンテナレストランで継続的なフェアを実施する。
13	地産地消推進事業交付金		・地場農産物の利用拡大	宇都宮市地産地消推進会議	・地産地消の意識啓発 ・うつのみや地産地消推進店の認定	H20	消費者が地場農産物を手軽に入手できるよう、うつのみや地産地消推進店の活用及びPR強化、安全・安心な農産物供給のための生産履歴記帳や残留農薬自主検査実施への誘導などを実施していく。
14	うつのみやアグリファンクラブ推進事業補助金		・消費者と農業・農村との相互理解の促進	うつのみやアグリファンクラブ	・農業情報の発信等を通じて、地場農産物の購入と農業・農村の理解を促進	H19	地場農産物の購入や農への理解促進を図るため、ファンクラブ会員の食や農に対するニーズの把握や、農業情報の更なる発信強化を進めるとともに、ネットワークへの情報提供やプロジェクトにより創出された商品・サービス情報を会員へ提供する。
15	地産地消推進会議	○	・消費者と農業・農村との相互理解の促進	宇都宮市地産地消推進会議委員	・「宇都宮市地産地消推進計画」に基づく事業の進行管理	H20	食の安全性や農を取り巻く環境の変化に対応するため、現行の推進計画の改定をする。
16	とちぎ”食と農”ふれあいフェア負担金		・消費者と農業・農村との相互理解の促進	とちぎ食と農ふれあいフェア実行委員会	・とちぎ食と農ふれあいフェア実行委員会が主催するイベントへの出展	H19	「食育」、「地産地消」、「食の街道」の取組を広く市民にPRするため、宇都宮市が農産物直売所や加工販売を行う事業者を募り出展を継続する。
17	地産地消推進事業補助金	○	・安全、安心な農産物等の供給促進	・学校給食へ地場農産物を出荷する生産者団体	・園芸用パイプハウス設置費用を補助するもの	H19	よりニーズに合った効果的・効率的な支援を行うため、平成25年度から「園芸作物生産施設等整備事業」に事業統合する。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地産池消の推進について、市内で生産される農産物の旬や取扱店舗に関する情報が少ないため、地場農産物に対する市民の関心や購買意欲が低い。</li> <li>◆安心安全な農産物を安定的に供給できる生産・出荷体制等を構築する必要がある。</li> <li>◆ブランド農産物の生産・出荷のため、さらなる技術の向上により高品質化を図るとともに、出荷の際の選別の精度向上を図る必要がある。</li> <li>◆農産物のブランド化推進について、効果的な情報発信やキャンペーン等を継続的に行い、ブランド力の向上に努める必要がある。</li> </ul>
方向性	<p>〈施策全般〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆本市農産物の需要拡大と振興を図るために、安全・安心で市場価値の高い良質な農林産物の生産や、地産池消の推進は重要であるため、類似事業の統合など事業の見直しを図りつつ継続して事業を実施する。</li> </ul> <p>〈主要事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆農業技術高度化事業：農業の生産性や品質向上を図るため、高度化事業における支援のあり方を検討し、推進していく。</li> <li>◆農産物ブランド推進事業補助金：市内及び首都圏におけるPR活動を継続するとともに、首都圏のアンテナレストランで継続的なフェアを実施する等、ブランド農産物の知名度向上を図る。</li> <li>◆地産池消推進会議：食の安全性や農を取り巻く環境の変化に対応するため、平成25年度中に地産池消推進の指針となる現行の推進計画の改定を行い、地産池消のさらなる推進を図る。</li> <li>◆地産池消推進事業補助金：平成25年度からよりニーズに合った効果的・効率的な支援を行うため、類似する事業である「園芸作物生産施設等整備事業」に事業統合する。</li> </ul> <p>〈その他個別事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆米粉利用促進事業については、当初の目的は達成できたと思われるため、見直しを行う。</li> </ul>